in Progress in Neurology and Psychiatry, Vol. 6, New York, 1951, 5) WADA, H. : Concerning Allergic Origin of Spontaneous Gangrene, Jap. Circul. J., **14**, 265, 1951.

和 文 抄 録

特発性脱疽の経過中に発生した急性播種性脳脊髄炎の1例

京都大学医学部外科学第1講座（荒木教授）
星 野 列

49才の男子．特発性脱疽の治療のため，頸動脈毬剔出並に腰部交感神経節切除を受けて入院中，突然に失明，左顔面神経下枝麻痺，軽度の嚥下困難，第四胸髄節以下の脊髄横断症状を発し，約3ヶ月後に各症状とも可成りの程度迄回復して退院した．

中枢神経系の脱髄性疾患の原因としてアレルギーが重視され，一方，特発性脱疽の原因としてもアレルギーが関心を持たれて居る．此の点から言つて，両疾患の合併は興味あるものと考えられる．

会 員 動 静

吉峰泰夫	高松市天神前一四一の五　高松赤十字病院整形外科
飯田　茂	三重県一志郡川合村大字八太九九二
岡田　守	大阪市北区西扇町三　北野病院外科
小田忠良	京都大学外科学教室
大谷　博	京都大学外科学教室
加藤　宏	京都大学整形外科学教室